

「早春の森づくりセンター活動」開催!

今年度最後の「森づくりセンター活動」が、令和4年3月5日(土)、早春の光を浴びた穏やかな天候のもと開催されました。

当日は、森づくりセンター94名、ガールスカウト13名、計107名の皆さんに参加し、江見所長のあいさつと作業内容の説明のあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりセンターの皆さんには、出会いのゾーンにある守山市で一番高い山「モリモリ山」(標高99m)近くの間伐作業を行いました。

現地は平成19年(2007年)植栽地で、手入れ不足のため少し密の状態であり、また大きな木もあったことから伐採作業が大変でしたが、センターの皆さんは熱心に作業をされ、森は明るくなりました。



出会いのゾーン「モリモリ山」近くでの間伐作業

一方、ガールスカウトの皆さんには、江見所長の指導のもと、自然観察ノートとルーペを持ち、水生植物や芽吹き始めた樹木、また地表に這って伸びる生命力豊かな植物や葉が落ちたあと枝に残る動物の顔に似た葉痕(ようこん)などをノートに記録し、森の自然に触れながら春の訪れを感じました。そして、森でとれたシイタケの原木に菌打ちをしました。



橋上から水生植物のヒメガマを観察



クヌギなど樹木の芽吹きを観察



しいたけの菌打ち

活動後は、全員お茶とおにぎりで疲れを癒しました。

新型コロナウイルスの影響でマスク着用の作業などいろいろと制限がある中、多くの皆さんに集い森の活動を予定どおり終えることができありがとうございました。

来年度はコロナが終息し安心した活動ができるよう願っています。

びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ(冬)

びわこ地球市民の森では、12月から1月にかけて「森のようちえんファミリー」「ウインターフェスティバル」「お正月キャンプ」を開催しました。

「森のようちえんファミリー」は、12月11日(土)に、親子6組、15名が参加し、間伐体験とお菓子づくりを行いました。恒例となりました森の中の間伐体験では、親子が協力して切り倒した木を束にして一括りの木にしました。そこにはみんなで作ったクリスマスリースやメッセージを書いた輪切りなどを飾りつけ、手作りのクリスマスツリーを完成しました。午後からは、スponジーケーキやクッキー、チョコレートなどを使い、家族ごとでお菓子の家を作り、おいしいおやつが出来上がりました。親子が一緒に活動する中で、コミュニケーションを取り、日頃見られない姿を感じるなど、有意義な一日でした。



森の間伐体験(森のようちえん)



クリスマスツリー(森のようちえん)



お菓子の家作り(森のようちえん)

また、小学生を対象としたキャンプでは、12月25日(土)から26日(日)に「ウインターフェスティバル」(参加者32名)、1月8日(土)から9日(日)に「お正月キャンプ」(参加者26名)を実施しました。ともに異年齢集団での生活を設定し、自然体験や環境学習の中で「生きる力」を育むことを目的として行いました。写真と地図をヒントにポイントを探す「フォレストロゲイニング」や「宝探し」、ダッヂオーブンで丸鶏ローストのクッキング、天体観測や夜の森探検などを体験しました。特に「お正月キャンプ」では、森づくりセンター「はやのの森探検隊」の皆様のご指導により、子ども達は交代しながら餅つきをしたり凧あげをして楽しみました。

3月最後のキャンプも、新型コロナウイルス対策をしっかりと講じ、森を活用した自然体験を予定しています。



丸鶏クッキング(ウインターフェスティバル)



餅つき体験(お正月キャンプ)